

第3回 岡山CASPワークショップのご案内

近年、医薬を取り巻く情報は増大の一途です。医療従事者として、これらの情報を客観的かつ正確に評価し利用することは、質の高い医療を提供することにおいて重要なスキルとなります。医療消費者にとっても、あふれる情報の中からどれが確かなのか、また、その情報を見極めるスキルの必要性は高まっています。今回、実際の医学論文を各グループで吟味し、その適用性を考えるワークショップを企画しましたので、ぜひご参加ください。

CASP(Critical Appraisal Skills Programme)とは？

最良の医療を提供するためには、判断の根拠の質を見極めることが重要になります。CASPは多くの方にこのようなスキルを身に付けてもらえるよう、英国オックスフォードで市民のための健康支援活動(PHRU: Public Health Resource Unit)の一部として始まりました。医療判断のための根拠を、1.見つけだし、2.内容を吟味し、3.その結果をもとに実際に行動できるように支援することを目的としています。

参考サイト:<http://caspjp.umin.ac.jp/>

参加者は、事前に配られたシナリオに基づいて医学論文を読み吟味し、それに基づき判断する作業をグループで行います。午前中には情報吟味について検索レクチャーも行ないます。

CASPワークショップ

総合司会:倉敷中央病院 総合診療科・医師教育研修部 福岡敏雄
日時:平成20年7月27日(日)13:00~17:00(受付開始時間 12:30)
会場:岡山大学病院 南病棟11階
岡山市鹿田町2-5-11
(岡山駅前からタクシー 7~10分)
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/hos/koutu.html>
岡山大学 津島キャンパスではありません
募集人数:約30名(先着順)
募集対象:医療従事者および医療の消費者(学生可)
参加費用:2,000円(当日払い)
半日のみの方は1,000円
(学生:1,000円 当日に学生証をご持参下さい)



目的:自らが提供し、また自らが受ける医療内容の妥当性を判断できるようになるために、医療情報の質を見極める知識とスキルを身に付ける。

目標:治療に関する医学情報の質を決めるポイントを挙げることができる。

ワークシートを用いてランダム化比較試験を吟味することができる

方法:小グループでの課題解決型学習に加えて、ミニレクチャーとグループ判断の共有

論文: N Engl J Med. 2005 June 16;352:2477-2486

Effect of Treatment of Gestational Diabetes Mellitus on Pregnancy Outcomes.

CASPfewワークショップ(論文吟味のための文献検索の解説を行ないます)

注意:このレクチャーの参加は必須ではありません。CASPの文献検索を少し学んでおきたい方のためのレクチャーです。これを受けなくても、ワークショップだけの参加で十分学ぶことができます。

平成20年7月27日(日)9:30~12:00(受付9:00~)

会場:岡山大学図書館鹿田分館3階

ワークショップ参加には**事前申し込みが必要**です。以下のメールまでお申し込みください。

OCA事務局 いずみ薬局内 中山弥生宛 e-mail: caspinokayama@yahoo.co.jp

受付期限:7月18日(金) 尚、定員になり次第締め切らせて頂きます。

形式:氏名(ふりがな)・所属・職種

1日参加・午前のみ・午後のみ のいずれかを選択して下さい

懇親会へのご参加・ご欠席

についてお申し込み下さい。

主催:OCA(Okayama Critical Appraisal)

共催:倉敷中央病院 総合診療科

岡山大学病院 医療情報部

HCA(Hirosima Critical Appraisal)

CASPJapan